

平成24年12月4日

西脇市議会

議長 池田勝雄様

文教民生常任委員会

委員長 山上武司

文教民生常任委員会特定所管事務調査報告書

当委員会の所管事務調査した結果を次のとおり報告します。

記

1. 調査事件名

地域医療を守り市民の健康福祉の向上を図ること。

2. 調査の目的

近年、少子高齢化が急速に進展するなか、市民の医療に対する要求や健康に対する需要は多様化している。一方、医療機関は医師、看護師不足が続くなかであって、その改善は急務となっている。このような社会情勢のもと、地域医療体制を再構築し、健康文化の創造を目指すことを基本として、市民と医療機関相互の理解と信頼関係を醸成し、市民・行政・医療機関の協同により地域医療を守り、市民の健康福祉の向上を図ることが重要との観点から調査を行なった。

3. 調査経過と結果

平成24年5月16日、文教民生常任委員会協議会において特定所管事務調査を地域医療を守り、市民の健康福祉の向上を図ることに決定した。

6月25日～29日 今年度よりの新学習指導要領（生徒が主体的に学ぶ社会科学習の研究・地域教材の開発）の実施に合わせて学校教育課程で地域医療・健康・食育問題についての取り組み方を教育長、各中学校長に要請し、懇談した。

7月11日・12日 地域医療・地域福祉の先進地である長野県佐久市・茅野市を視察した。（視察所感は既報告通り）

7月22日 第4回 西脇病院フェスタにおいて地域医療を守る条例コーナーを設置し、ビデオ放映と合わせて市民の健診率 向上 促進のパンフレットを配布した。

7月23日・26日 市民の医療・健康の増進に向けた健康づくり推進協議会の開催・健康診断の「受診率」を高めるよう福祉生活部・健康課へ対策を要請、懇談した。

8月24日 黒っ子プラザにおいて加東市議会・多可町議会・西脇市議会 合同の「地域医療を守る地域の輪」と題して自治医科大学梶井英治氏を迎えて研修会を開催した。

8月24日 自治医科大学梶井英治氏を囲み、西脇病院岩井副院長をはじめ医師・薬剤師・看護局・事務局・グラママ・小児医療を守る会との懇談、交流を深めた。

10月26日 黒田庄中学校において「東播磨・北播磨地区中学校社会科教育研究集会」西脇大会において西脇南中学校 3年生が地域医療再生をテーマに学習した。この授業を通じて生徒が自分の生活とつなげて身近な市民運動や市政への参加の大切さを認識したことは未来社会への主権者としての自覚を培う大きな一歩となった。

4. むすび

▲この1年、地域医療を守り、市民の健康福祉の向上を図ることを目的として調査してきた。▲視察・先進地の取り組みに学ぶところは多々あったが「西脇らしい」内外から注目される取り組みが大事である。▲病院関係者から地域医療を守る条例の制定が西脇病院の医局はじめ病院職員のモチベーションを高めることになった、との声を聞く。▲平成25年、秋オープンする北播磨医療センターを睨み、西脇病院は拠点病院として脳卒中・脳疾患病院の特異性を持ってブレないスタンスが肝要。▲健康診断の受診率を高める取り組みは180名の保健衛生推進委員の奮闘により下降線から上昇局面に転じたが、気を緩めてはならない。▲西脇市議会が取り組んだ地域医療問題は、今、北播全域の議会共通の課題となっており、これからも連携が大事。▲西脇南中学校3年生の教育課程の公民的分野で地域教材として「地域医療再生」を取り上げ学習した。6班編制による小集団学習は、討論や発表も活発であった。▲感受性が高い中学生が自分達の地域の医療問題について学び、理解を深めたことは意義深く、次世代への継承の場になったと思う。▲継続は力なりー、来年以降も全4中学校が連携して地域医療再生をテーマに学習を深めることを確認されたことを高く評価する。以上